

ソーシャル PM ニュース 2015年4月

2015 年 4 月 20 日更新

PMI 日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

ソーシャル・プロジェクト（社会課題の解決を目的とするプロジェクト）のマネジメントについて、研究活動の状況、イベント、人材募集などについてお伝えします。

2015年4月 もくじ

A. 研究会活動の状況

A1 WG1（ソーシャル・プロジェクト事例調査 WG）の活動計画紹介

A2 ソーシャル PM 一問一答

B. ソーシャル PM 関連イベント

B1 PMI 日本フォーラムで「デザイン思考ソーシャル PM」を発表

C. 連携団体情報・プロジェクト・マネジャー募集

C1 「WORK FOR 東北」プロマネ募集

C2 「サービスグラント」イベントのご案内・プロマネ募集

C3 「イノベーション東北」プロマネ募集

A. 研究会活動の状況

A1 WG1(ソーシャル・プロジェクト事例調査 WG)の活動計画紹介

前号でソーシャル PM 研究会の 2015 年活動計画の概要をお伝えしましたが、今号から 4 回にわたって各ワーキンググループの計画について詳しく説明します。

ソーシャル PM 研究会は、4 つの WG（ワーキンググループ：作業部会）によって構成されており、その 4 つの WG の役割と関係性の全体像は図 1 のようになります。

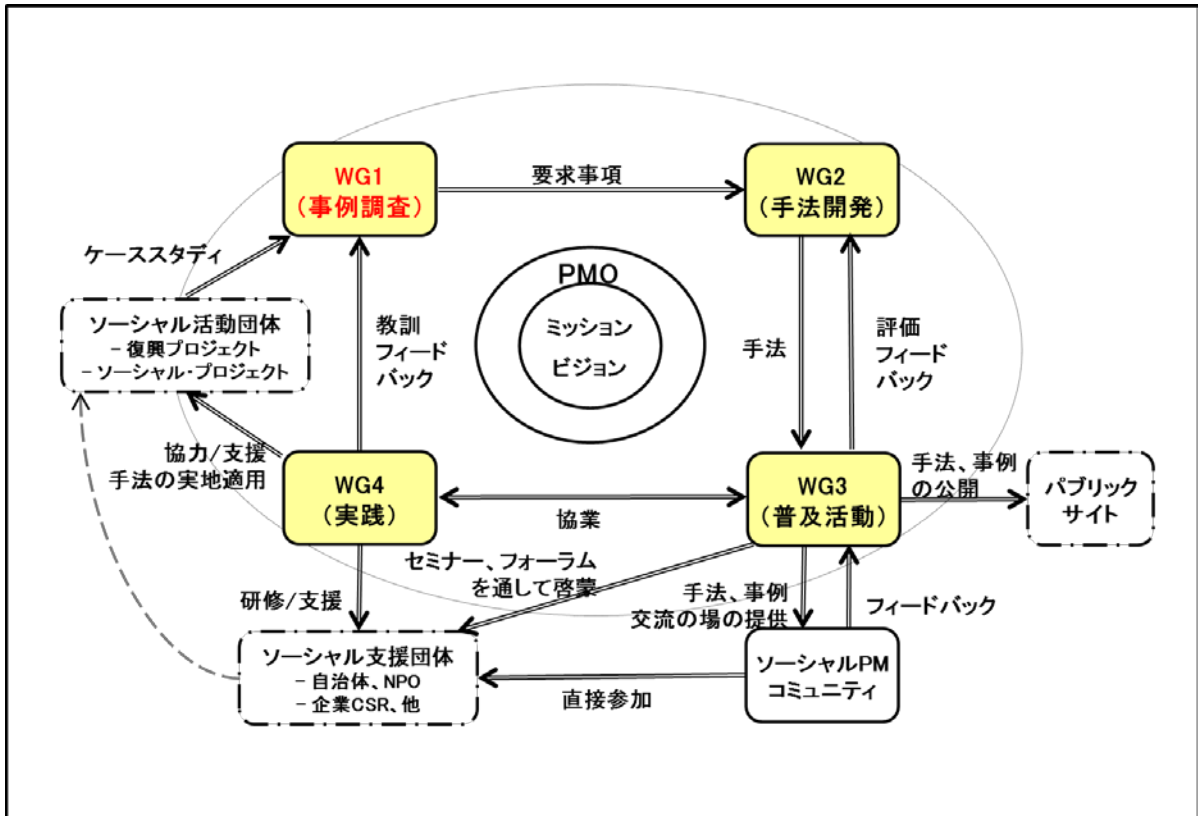


図1 ソーシャルPM研究会の全体像

WG1（事例調査WG）では、ソーシャル・プロジェクトの事例を調査し、「どのようなPM手法を」、「どの領域、部分、工程に」、「どの段階で」、「誰に対して」、「どのように提供」すれば、役立つかを分析します。分析の結果を、WG2（手法開発WG）へ連携し、手法に反映することで、“社会的活動に本当に役立つPM手法“の開発を実現することを目的としています。

本年度の活動は図2に示したように次の4つの柱で進めています。

- ① ステークホルダー・エンゲージメント
- ② プロジェクト教訓分析
- ③ 事例調査
- ④ 広範アンケートの実施

		2015年											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
イベント													
WG1 活動	1	ステークホルダー・エンゲージメント											
	2	パイロットプロジェクト 教訓分析(内部)					プロジェクト教訓分析継続						
	3	事例調査#1 遠野まごころネット様との協働											
	3						事例調査#2 企業CSRに関する共同研究						
4	社会活動団体アンケート								社会活動団体フォローアップインタビュー				

図2 WG1（事例調査）の2015年 年間計画

ここでは、今年度のWG1（事例調査WG）の活動のそれぞれの柱に関して、その概略を解説します。

第一に、ステークホルダー・エンゲージメントについては、ソーシャルPM研究会の活動そのものを1つのプログラムとみなし、プログラムマネジメントの手法にしたがってステークホルダーとの関係性を構築・強化していきます。具体的には、①ステークホルダーの識別 ②各ステークホルダーに対する活動計画の立案 ③活動計画の実行というサイクルを通じて、ステークホルダーとの関係性を構築・強化していきます。また、この一連の活動を通じて得た教訓等を分析し、ソーシャル活動におけるステークホルダー・マネジメントのテンプレートとして、汎用的に活用できる成果物をまとめることを目指します。

第二に、プロジェクトの教訓分析については、実際のプロジェクト事例を調査し、課題分析・教訓分析を行います。今年度は、これまで調査を進めてきた復興支援パイロット・プロジェクトや情報レスキュー隊プロジェクトに関して、課題分析・教訓分析を深掘し、その分析結果を、WG2（手法開発WG）へ連携することからはじめます。WG2（手法開発WG）では、WG1（事例調査WG）からの分析結果を、手法開発に反映していきます。また、新規に立ち上がるプロジェクトに関しても、同様に継続して課題分析・教訓分析を行っていく予定です。

第三に、事例調査については、NPO団体や企業CSR活動との共同研究により、PM手法へのニーズを分析し要求事項を策定することを予定しています。今年度は、実際の企業のCSR担当部署の方々と、CSR活動のあり方・進め方に関して共同で検討していく活動を立ち上げる予定です。そして、その活動を通じて、PM手法への要求事項を分析するとともに、企業CSR活動のPMテンプレートとなり得るものをまとめていく予定です。

第四に、広範アンケートについては、WG2（手法開発WG）と協業して、これまで関係を構築してきたNPO・企業等に対して、ソーシャル活動を推進していくうえでの課題・教

訓などに関して、ウェブサイトを中心としたアンケート調査を行います。なお、このアンケートは毎年継続的に行うことを想定しています。

2015年、WG1（事例調査）は、これらの4つの柱を軸として、研究会の月例会に加えて月1回のWG オフ会を中心に活動を進めていく予定です。

なお、ソーシャル PM 研究会全体についてのご案内は次のサイトをご参照ください。

https://www.pmi-japan.org/session/study_club/social_pm.php

これらの活動にご関心を持たれましたら、是非オブザーバーで参加してみてください。

A2 ソーシャル PM 一問一答

前号で報告したソーシャル PM セミナーのパネルディスカッションでは、参加者からご質問を数多くいただいて活発な意見交換が行われました。ソーシャル PM という新しい取り組みはまだ概念も十分に確定していないので、いろいろな質問をいただきます。その中で特に広く皆様にご理解いただきたいテーマについて今号から連載で解説していきます。内容についてみなさまのご意見もお聞かせください。

(Q1) そもそもソーシャル活動にプロマネが必要でしょうか？

(A1) 小規模な活動でしたら、取り立ててプロマネという人はいなくても進められますね。

少し大きな活動になったらどうでしょう。メンバーが増えると目標や計画を共有し、役割を分担して進めることが必要になります。

社会課題への取り組みには多様な関係者（ステークホルダーと言います）が関わっていて、それぞれの期待値が異なることも多く、ベクトルを合わせるが大変です。そこで通常は取り組むべき課題の領域での専門家の方がリーダーないしはコーディネーターとなって方向付けをしていくことになります。

複雑な課題になればその領域も複数にわたって互いに絡み合い、複数の専門家に関わってくることもあります。専門家の方は課題解決の内容について調査分析し、解決策を作っていきますが、そのとき多くのステークホルダーとスケジュールの調整をし、リソースの調達やリスクのコントロールをしながら進捗の管理をしていくのは容易ではありません。そこで課題領域の専門家（Subject Matter Expert = SME と言います）を助けるマネジメントの専門家（Project Manager = PM）を置くことにしてはいかがでしょうか。

小規模であれば一人の人が SME と PM の両方の役割を果たしていけます。大きくなったら役割を分担して進めます。ただしここで一つ考えるのは、情報システム開発のプロジェクトでは通常 PM が全体のリーダーシップを取りますが、ソーシャル・プロジェクトではあくまで SME が主体であって PM はその補佐役に徹することではないでしょうか。もちろん両方ができればそれに越したことはありません。

B. ソーシャル PM 関連イベント

B1 PMI 日本フォーラムで「デザイン思考ソーシャル PM」を発表

今夏も 7 月 11 日(土)―12 日(日)に PMI 日本フォーラムが開催されます。

ソーシャル PM 研究会は 11 日(土)の午後に 3 つのセッションでこれまでの研究成果を発表します。

① ソーシャル PM 実践報告「情報支援レスキュー隊プロジェクト」

徳永 礼 7 月 11 日(土) 16:25～16:50

② デザイン思考ソーシャル PM ものがたり

高橋 正憲 7 月 11 日(土) 17:05～17:30

③ デザイン思考ソーシャル PM 体験ワークショップ

中谷 英雄 7 月 11 日(土) 17:40～18:05

4 年前の東日本大震災以来、復興支援プログラムとしていくつかのプロジェクトをお手伝いしてきました。その延長でソーシャル PM 研究会を発足させソーシャル PM の手法を開発しつつあります。

7 月のフォーラムでは、復興支援プロジェクトの中で比較的大きな「情報支援レスキュー隊プロジェクト」を紹介して、その全経過をソーシャル PM の考え方で見たときの流れを理解し、中心となるメソッドのいくつかを体験していただこうと考えています。

内容が固まってきたら皆様にご案内いたします。ご期待ください。

C. プロジェクト・マネジャー募集

ソーシャル PM 研究会が連携している団体からのプロマネの募集です。

C1 「WORK FOR 東北」プロマネ募集

◆お勧めの案件

[岩手県大船渡市] 椿の里づくり戦略コーディネーター

地域の人に長く大切にされてきた、大船渡市の花「椿」を地域資源として育て、まちの人や現地の事業者の方、NPO の方、行政の方などをコーディネートし、椿を活用した産業の構築や市内外の交流促進企画の立ち上げを担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/125>

〔岩手県岩泉町〕 森林資源を活用した産業・雇用創出の推進【事業ディレクター】

森林整備と木材利用の両面から地域林業を振興するための体制づくり、仕組みづくりとして、岩泉の明日の林業をつくるプロジェクトや森林認証の推進、木材流通の活性化に向けたウェブ等を活用した情報発信などを担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/125>

〔宮城県石巻市〕 農林漁業の再生と事業者の経営支援コーディネーター

震災によって失われた地場産品の販路は未だ回復していないため、事業者の 6 次産業化や販路開拓支援といった各農林漁業者の経営のサポートから、地域全体の産業再生を図る、地域の地場産品を扱う市場型商業・観光交流施設や E コマースサイトなどの企画・運営を担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/68>

〔福島県浪江町農業〕 帰還に向けた復旧・復興業務ディレクション

浪江町では町民・行政区・民間団体・企業・NPO・大学・国・県など多様な組織との協働にて復興を進めていますが、関係者との協働を促進にはコーディネーターが不可欠です。関係者との協働を図り、避難解除に向けた基準づくり及び検証に関する委員会や町民との意見交換会・説明会の運営、人口減少社会への対応のための総合戦略作成を担当いただきます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/105>

その他、全体の募集案件は以下よりご覧いただけます。

<http://www.work-for-tohoku.org/list/>

◆ 「WORK FOR 東北」 事業について

<http://www.work-for-tohoku.org/>

「WORK FOR 東北」では、東日本大震災で被災した自治体などの人材ニーズと、復興の現場で働きたいという個人、企業の方をお繋ぎするサポートを実施しております。復興に携わる業務にご関心のある方、ぜひ一度ご検討頂ければ幸いです。

お問合せ・お申し込みは以下まで

日本財団「WORK FOR 東北」事務局

東京都港区赤坂 1-2-2 日本財団ビル 5F

TEL : 03-6229-5229 (9:00~18:00/土日祝除く)

E-Mail : jinzai-pf@ps.nippon-foundation.or.jp

C2 「サービスグラント」プロマネ募集

■ サービスグラントのご紹介

2月号よりご紹介いただいております、NPO 法人サービスグラントです。『ビジネススキルや専門知識を活かしたボランティア活動』である“プロボノ”のコーディネートを通して、NPO の支援を行っています。

今回は4・5月に集中開催いたします、イベントのご案内です。実際にプロボノへのご参加経験のある社会人や支援先 NPO 団体から直接お話を聞ける機会となっております。プロボノ経験 PM も多数ご参加予定です。多くの皆さまのご参加、心よりお待ち申し上げます。

4-5 月はイベント盛りだくさん 「プロボノキャラバン in TOKYO」

～この春始めよう、大人のための社会科見学～

<http://www.servicegrant.or.jp/event/index.php?id=148>

プロボノキャラバン in TOKYO は、社会貢献に興味がある、自分の力を会社の外で試してみたい、自分自身の視野を広げてみたい、そんなみなさんのプロボノデビューを応援するキャンペーン企画です。2015 年 4 月～5 月の期間中、プロボノの「入口」となるイベントを、東京のあちこちで、毎週のように開催します。

特徴としては以下の 3 点！

- 経験者のリアルな話が続々。具体的なイメージが見えてきます！
- イベントごとに異なる切り口。連続して参加しても楽しめます！
- プロボノワーカー参加説明会も集中開催。チャンスはほぼ毎週！

新しいことをスタートするのにぴったりのこの季節。プロボノキャラバンへの参加から、一歩を踏み出してみませんか？ぜひ、詳細ページを確認いただき、ご関心に合わせてご参加ください。

(複数のイベントへのご参加も大歓迎です)

《プロボノキャラバン in TOKYO 期間中イベント一覧》

■ 4 月 ■

4月18日（土）プロボノワーカー参加説明会

4月22日（水）プロボノワーカー参加説明会

4月27日（月）プロボノ感謝祭 ～ NPO とプロボノワーカーが語る！

■5月■

5月13日（水）プロボノワーカー参加説明会

5月16日（土）「ママボノ」第二期報告会 ～ 子育て×プロボノ = 復職へのウォーミングアップ！

5月27日（水）プロボノワーカー参加説明会

5月30日（土）Hello! プロボノ in 国分寺 = 西東京エリアでのプロボノキックオフイベント！

詳細・申し込み>><http://www.servicegrant.or.jp/event/index.php?id=148>

《ご参加までの推奨スケジュール》

- ・4、5月：スキル登録、プロボノワーカー説明会ご参加
- ・5月：PM ご希望者対象説明会の実施（マネジメントに特化した説明会です）
- ・6月：プロジェクト立候補募集、チーム編成
- ・7月：プロジェクトキックオフ

《スキル登録》

ご参加への第一歩として、皆さまのビジネススキルや専門知識について『スキル登録』をお願いしています。ご参加までの流れ、並びにスキル登録フォームは以下ページよりご確認ください。

<http://www.servicegrant.or.jp/skill/flow.php>

皆様のイベントご参加並びにスキルご登録、心よりお待ちしております。

【お問い合わせ先】

NPO 法人サービスグラント（担当：岩渕）

03-6419-402

info@servicegrant.or.jp

=====

C3 「イノベーション東北」プロマネ募集

■「イノベーション東北とは？」

イノベーション東北は、Google が中心となり、インターネット、クラウドの力で、東北のビジネスとコミュニティが新しい変化を起こすためのプラットフォームです。東北の未来のために新しい挑戦に取り組む事業者と、スキルを活かしてその挑戦をお手伝いするサポーターとのマッチングをオンライン上で実現しています。

プロジェクトのスタートにあたりまず大事なことは、具体的な問題の抽出・絞り込みとゴール設定、それから実際のプランへの落とし込みです。この部分を担えるのはやはりプロジェクト・マネジャーの経験ありきだと思っております。ぜひ一度ウェブサイトをご覧ください、ご興味のある案件にはサイトよりご応募下さい！

イノベーション東北

<https://www.innovationtohoku.com/>

■活動の様子

「チャレンジレポート」にはサポーターや事業者からの活動報告やコメントがよせられています。取り組みのイメージや活動の様子を見たい方は、ぜひ一読下さい。

レポートがよせられているチャレンジの例

- [宮城県 気仙沼 有限会社齋勝商店](#)
- [宮城県 女川 NPO 法人アスヘノキボウ](#)
- [福島県 浪江 合資会社旭屋](#)

■お勧めの案件

今回は、復興庁が主催した「結の場@南相馬市」に参加した企業からのニーズです。3件ともホームページの作成ですが、HPを通して叶えたいゴールは何か、そのためにどんなHPが必要かなど、まずはプロジェクトのプランニングの部分を担当して頂けるプロジェクト・マネジャーを募集しています！

※復興庁結の場については[こちら](#)

結の場の案件は、サイトに掲載されていないため、サイト上からの応募はできません。以下の内容をフォームに明記の上、まずはイノベーション東北事務局にお問い合わせ下さい。

お問い合わせフォーム

<https://www.innovationtohoku.com/contact/register.htm>

明記する内容

- 希望する「結の場」案件の会社名
- 応募の理由
- 簡単な自己紹介
- 質問（もしあれば）

案件：

①人材育成を大切に、女性技術者にアピールできるホームページ（会社案内）の製作
【有限会社協栄精機】

機械設計に関して高い技術を有していることが評価されています。これからも高いレベルを保つために採用や人材育成を積極的におこなっています。スキルを高めたい人や女性技術者にアピールできる会社案内のあるホームページの作成をサポートしてください。

②工業用パッキン製造の技術を活かして新分野に進出。海外にも発信できるホームページを
【有限会社東北大成】

工業用各種パッキンを生産する傍ら、大学との共同でマッスルスーツの人工筋肉の開発にも挑戦しています。新規分野でアピールして従来の取引先以外の新規顧客を獲得したいと考えています。モノ作りの力を国内外に発信するため日本語、英語、中国語のホームページ作成をサポートしてくれる方を探しています。

③7月に新工場スタート！販路開拓につながるホームページを作りたい
【有限会社コワタコーポレーション】

南相馬でステンレス加工、業務用厨房機器生産を行っています。新工場設立で、板金技術での新分野への進出、製作時間の短縮スピード化が可能になるため、販路開拓を今後は積極的におこないたいと思っています。Web上でのPRとして、7月新工場稼働後に工場設備を掲載したホームページの開設を考えています。何をどう掲載すると効果があるのか相談レベルからお願いします。

=====

編集後記

今月から研究会各ワーキンググループの活動計画を紹介します。初めに WG1（事例調査 WG）ですが、初めからステークホルダー・エンゲージメントなどと言う聞きなれない言葉が出てきました。ソーシャル活動の世界では最近よく使われるようになってきました。とても大事な概念ですから、ここでも共有していくことにしましょう。

このニューズレターは社会課題解決の志を同じくするプロジェクト・マネジャーのコミュニティ醸成のために関係団体のイベントや人材募集の情報連携をいたします。

毎月 15 日の発行を目標にしますので、掲載希望のニュースをお寄せ下さい。

発行者： PMI 日本支部 ソーシャル・プロジェクトマネジメント研究会

責任者： 研究会代表 高橋 正憲

=====